

岐阜県立加茂農林高等学校

学校長 丹羽 俊文

学校住所 美濃加茂市本郷町3-3-13 電話 0574-26-1238

- 1 会議の名称 岐阜県立加茂農林高等学校 学校評議員会 (第2回)
- 2 会議の構成
- | | | | |
|-----|-------|-------------|------------|
| 評議員 | 桂川 直人 | 岐阜県農業大学校長 | |
| | 佐伯 薫 | 岐阜県指導農業士 | |
| | 平井 靖司 | 地方公務員 | |
| | 福田 文代 | ボランティア団体副会長 | |
| | 渡辺 祥二 | 農業生産法人代表 | |
| | 堀田 泰史 | P T A会長 | |
| 学校側 | 丹羽 俊文 | 校長 斉藤 寧子 | 教諭(教務主任) |
| | 村井 真 | 教頭 岩永 英夫 | 教諭(生徒指導主事) |
| | 岩井のり子 | 事務部長 澤野 美彦 | 教諭(進路指導主事) |
| | 八束 功子 | 教諭(農場長) | |
- 3 会議の目的 学校運営について地域住民等から幅広く意見を聴き、地域社会からの支援・協力を得て、開かれた学校づくりを推進する。
- 4 会議の開催 平成31年1月22日(火) 13:30~15:30
評議員5名、P T A会長及び学校職員7名が出席
- 5 会議の概要
- 1 本校生徒との意見交換会
 - 2 学校評議員による会議
 - (1) 学校長あいさつ
 - (2) 生徒及び保護者等を対象とするアンケート結果について
 - (3) 学校関係者評価、学校への意見・要望等
 - (4) その他

テーマ 生徒との意見交換会

前生徒会長の司会により、生徒会役員代表、農業クラブ役員代表、各学科の代表及び主な部活動の代表の生徒と学校評議員及びP T A会長との意見交換会を行った。

それぞれの生徒から、今年度頑張ったことや成果、卒業を迎える心境、卒業後の進路、学校や後輩への思いや要望などが話され、それを受けて、学校評議員等から感想・質問・意見を聴いた。主な意見等をまとめると以下のとおりである。

<生徒会・農業クラブ活動>

意見 生徒会では目安箱を設置し、広く生徒の意見を取り入れるよう心掛けているようですが、実際にはどれくらいの意見があり、どれだけ実現したのか?

生徒 今年度10個の意見が実現できました。その中には学校祭でのクラス発表の仕方への意見が

あり、意見を取り入れ学校祭がとても盛り上がり良かった。

<各学科の取組>

- 意見 今年度岐阜県では豚コレラの感染拡大により多くの豚が殺処分された。本校では豚の飼育はしていませんが、畜産を学ぶ生徒にとってこの一件で何を感じ、何を考えましたか？
- 生徒 多くの命が失われたことはとても悲しく思いますが、畜産を学ぶ者にとって避けては通れない出来事でやむを得ないと考えます。しかしこのピンチをチャンスだと考え、前向きに次に活かせるようにしたいと考えます。
- 意見 柿渋の普及のため地域の人と柿渋石けんの制作をしていると言われましたが、柿渋石けんについて詳しく教えて欲しい。
- 生徒 柿渋には、防腐・防虫・防水効果があり古くから使われています。制作工程は3つで簡単に作ることができます。

<部活動の取組>

- 意見 部活動では先輩と後輩の関係はどうか？
- 生徒 上下関係はきびしくなく、和気藹々と活動しています。
- 意見 部活動では勉強以外のことで多くの事が学べると思います。特に人間関係づくりは社会に出ても役に立ちます。3年間部活動を続けて欲しい。

テーマ 学校関係者評価、学校への意見・要望等

校長の挨拶と近況報告、生徒及び保護者等を対象に行ったアンケートの分析報告、各分掌長から今年度の成果と課題を発表した後、学校評議員等から感想・質問・意見を聴いた。
主な意見等をまとめると以下のとおりである。

- 意見 今の生徒はコミュニケーションが下手で、他人の意見を聞きながら自分の意見をまとめるといったことができない。また物事を部分的にしか見られないため全体像が見えてこない。コミュニケーション能力は実習や課題研究等に取り組むなかで養われると思います。そういった観点で生徒を育成して欲しい。
- 意見 アンケートでは学習活動に関する数値が下がっています。原因、対処等はどのように考えていますか？
- 教員 今年度学校では校内職員研修のテーマとして授業改善を取り上げ研修してきましたが、十分な成果がでなかったと反省しています。また迷惑調査では授業中うるさくなり集中できない、というアンケート結果がありました。次年度も研修したことを踏まえた授業、生徒1人1人に対応した指導を心掛けていきたいと考えます。
- 意見 今の時代スマホ一台でほとんどのことが済まされてしまいます。実際に経験しなくてもスマホからの情報で疑似体験できますが、やはり実際に体を動かしたり、他人とふれあったりすることから、何かを感じ、考えることがとても大切だと思います。農業高校ではそういった実体験ができる学校です。地域の課題等に取り組みながら人間形成をしていって欲しい。
- 意見 小学生や中学生といった若い世代に、食育や色々な活動を通して農業を理解するきっかけづくりをして欲しい。

6 会議のまとめ

意見交換会で本校生徒の思いを聴いていただき、多くの励ましの言葉を頂くことができた。今後も生徒の活躍する場面を増やし充実した学校生活を送れるよう全職員で指導していきたい。

評議員の皆さんはもとより広く地域住民に対し、「開かれた学校」として学校や生徒の姿を示し、ご意見に耳を傾けて、学校のさらなる改善に努めていくことを確認し、本会議を閉会する。